

# 白井と北総の子安塔

— 慈母像石塔の系譜を追って —



文政13年（1830）今井青年館



弘化3年（1846）中 薬師堂



昭和9年（1934）復 観音堂

# 第1部 白井市内のムラの民間信仰の石造物



庚申塔群 河原子天神社 宝永6年(1709)他



馬頭観音塔 平塚延命寺 天明3年(1783)



二十三夜塔 法目八幡社 嘉永6年(1853)



上長殿庚申塚 延享3年(1746)他



道祖神 小名内稻荷神社 弘化3年



法目の道祖神

## 白井市内の主な民間信仰の石造物

種類	基数	上段：最古 下段：最新
庚申塔	271	所沢鷲神社下庚申塚&谷田庚申塚（寛文10年1670）
		折立・熊野神社（昭和56年1981）
出羽三山供養塔	88	根・白井新田天神社（明和8年1771）
		平塚・延命寺（昭和59年1984）
馬頭観音塔	91	富塚鳥見神社（宝暦2年1752）
		富塚木下墓地（昭和48年1973）
道祖神	31	復・富ヶ谷鳥見神社（享保15年1730）
		中台火の見（昭和29年1954）
二十三夜塔	28	中木戸諏訪神社（元禄11年1698）
		本郷集会所（大正7年1918）
十九夜塔& 女人講如意輪観音像塔	99	平塚延命寺（寛文10年1670）
		復・上長殿（明治35年1902）
子安石祠	3	平塚鳥見神社（寛政12年1800）
		今井青年館（文政13年1830）
子安像塔	54	中木戸 観音堂（文化6年1809）
		本郷集会所（平成11年1999）

## 女人信仰の石造物 十九夜塔

旧暦19日の夜、女性が寺や当番の家に集まって、講を開き、如意輪観音の前で経文、真言や和讃を唱える行事を「十九夜講」と呼び、関東北東部で盛んに行われてきました。

十九夜講が、祈願の信仰対象あるいは成就のあかしとして建立する石塔が「十九夜塔」で、主に、右手を右ほほに当て首をかしげ、右ひざを立てて座る姿の如意輪観音像が主尊として彫刻されています。



「十九夜念仏供養 二世安楽」などの銘文と、如意輪観音浮彫像を刻んだ典型的な十九夜塔が盛んに建てられるようになるのは、千葉県内では、寛文5年(1665)印西市(小倉青年館)からです。

なお、千葉県内のその頃の像容は、二臂より六臂の如意輪観音像が多く、またまれに聖観音像や地藏像の十九夜塔も見られます。

白井市では寛文6年銘の平塚延命寺の六臂如意輪観音像の十九夜塔が最古で、市の文化財に指定されています。

寛文5年(1665)印西市小倉青年館



寛文10年(1670)平塚延命寺

# 白井市内最古の十九夜塔



寛文10年(1670)平塚延命寺



寛文11年(1671)  
名内東光院



寛文12年(1672)  
所沢 寮



延宝3年(1675)  
富ヶ沢光明寺



延宝3年(1675)  
復 仏法寺

# 女人信仰の石造物 十九夜塔の分布

## 十九夜塔の分布

千葉県北部、茨城、栃木、埼玉、福島県の一部に多い  
 特に利根川流域を中心に、「古鬼怒湾」あるいは「香取の海」といわれる霞ヶ浦から印旛沼・手賀沼を含む湖沼から遡上する河川沿岸の村々ひろがる

## 初期の十九夜塔造立数

利根川とその支流の小貝川・手賀川・長門川・利根常陸川の流入地点が早い段階から十九夜塔普及の地域となっている

### 初期の十九夜塔造立数

寛文10年(1670)まで

#### 茨城県側

- 利根町 10基
- 伊奈町 7基
- 取手市 6基
- 藤代町 3基
- 鹿嶋市 3基

#### 千葉県側

- 印西町 12基
- 佐原市 6基
- 印旛村 6基
- 我孫子 5基
- 白井市 1基
- 佐倉市 1基
- 千葉市 1基

## 十九夜塔の関東各県別の数

栃木県	2702基
茨城県	1672基
福島県	1449基
千葉県	1175基 *
群馬県	142基
埼玉県	108基

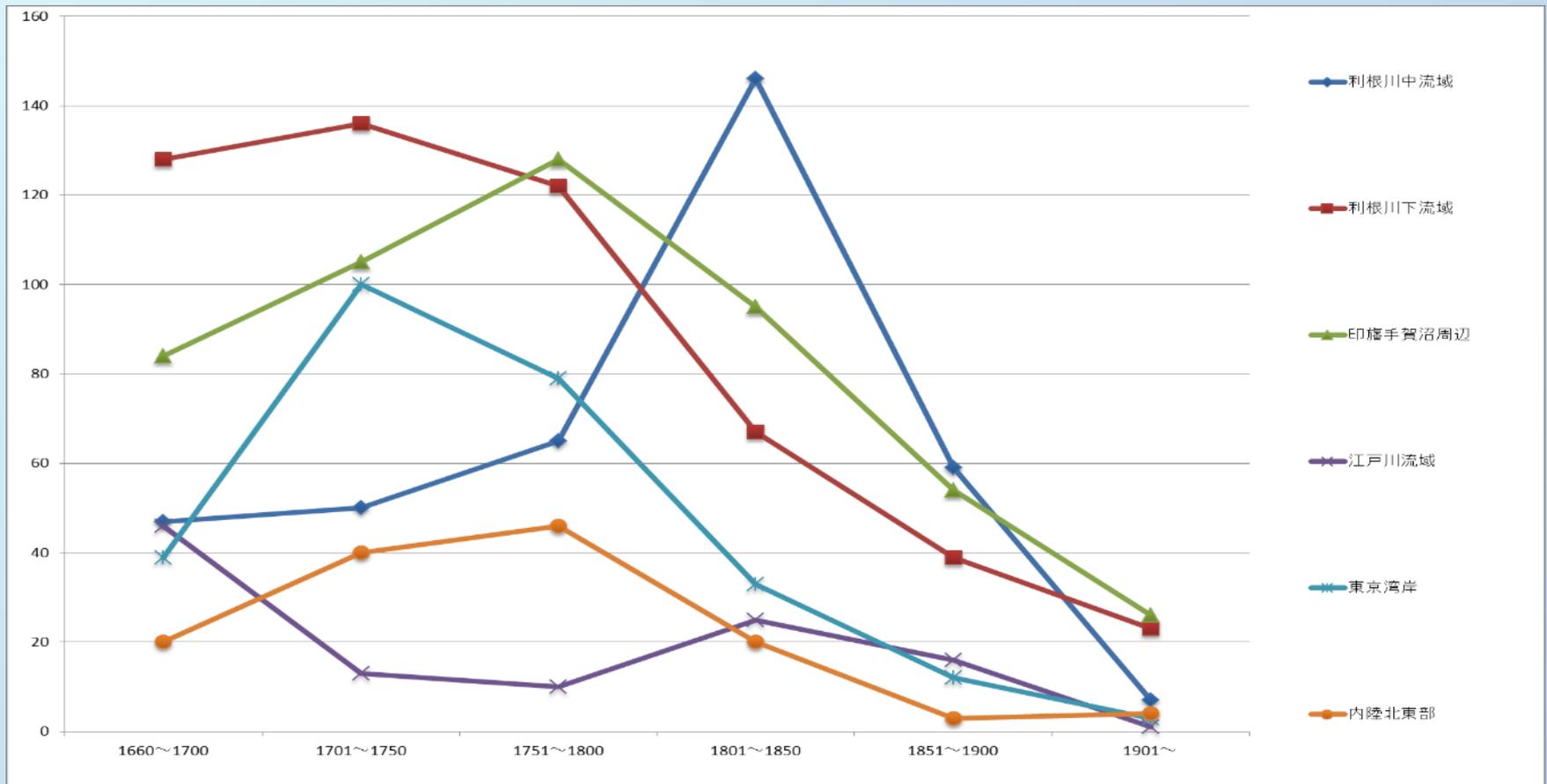
中上敬一氏の2005年報告

\* 石田年子氏の2011年の集計で  
 千葉県 1997基



西暦	利根川中流域	利根川下流域	印旛手賀沼周辺	江戸川流域	東京湾岸	内陸北東部	計
1660~1700	47	128	84	46	39	20	364
1701~1750	50	136	105	13	100	40	444
1751~1800	65	122	128	10	79	46	450
1801~1850	146	67	95	25	33	20	386
1851~1900	59	39	54	16	12	3	183
1901~	7	23	26	1	3	4	64
不明	9	41	24	5	18	9	106
合計	383	556	516	116	284	142	1997

エリア	市町村名						
利根川中流域	野田	柏	我孫子				
利根川下流域	印西	栄町	成田	佐原	東庄	小見川	
印旛手賀沼周辺	沼南	鎌ヶ谷	白井	八千代	佐倉	酒々井	印旛 本埜
江戸川流域	市川	松戸	流山				
東京湾岸	船橋	習志野	千葉				
内陸北東部	四街道	富里	大栄	山田	八日市場		



## 女人信仰の石造物 **子安塔**とは

安産・子育て・子授けを祈願する女性の子安講が建てる子安塔は、「**子安大明神**」銘の子安石祠と、主尊が乳幼児を抱く像容を刻んだ**子安像塔**に大別される。

千葉県内で最古の子安塔は、元禄4年（1691）の袖ヶ浦市百目木子安神社の「子安大明神」銘子安像塔である。

北総では、元禄16年（1703）の八千代市上高野子安神社の「子安大明神」銘の子安石祠が古く、**白井市でも寛政12年（1800）銘の子安石祠**が子安像塔に先行して現れる。

後者の子安像塔は江戸中期後半から普及し始め、「子安大明神」銘のほか、「十九夜講」や「子安観音」銘が見られるようになる。

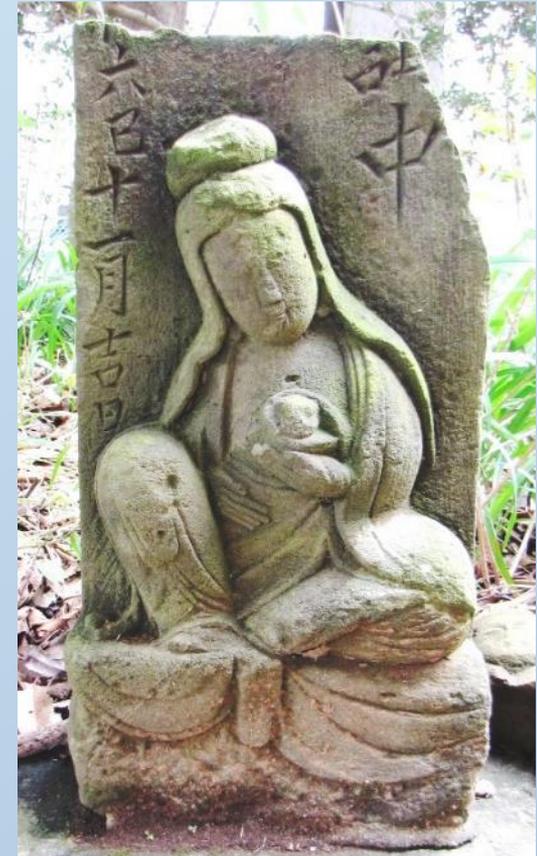


白井市での子安像塔の初出は遅く、江戸後期からで、**中木戸観音堂の文化6年（1809）銘石塔**である。

この後、さまざまな像容の子安像塔が建てられ、幕末から近代になると、十九夜塔に代って、印旛・東総地域の女人講石造物のほとんどを占めるようになる。

なお、東葛地域では、市川以西の江戸川流域での子安塔建立はほとんど見られず、船橋市古作町熊野神社の明治20年（1887）子安像塔が最西端である。

寛政12年（1800）平塚鳥見神社    文化6年（1809）中木戸観音堂



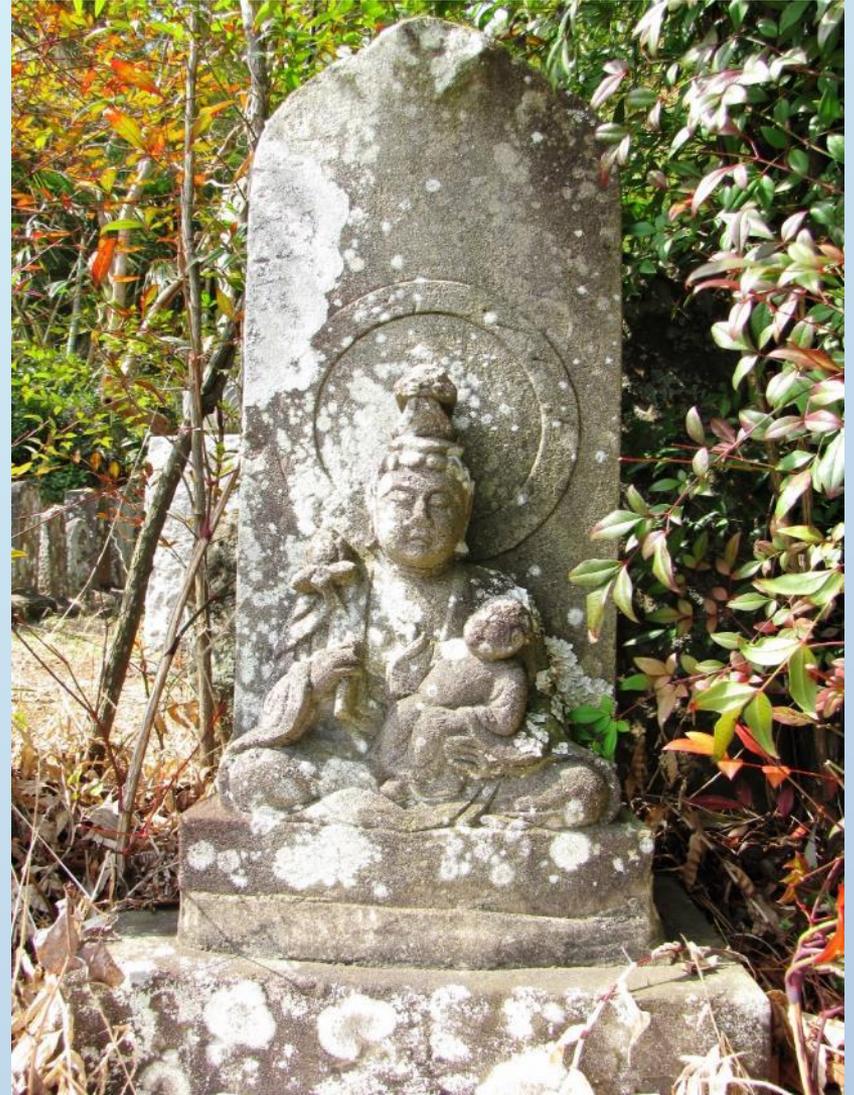


如意輪観音像の十九夜塔3基と子安像塔6基が並ぶ

## 向台薬師堂の子安塔群-1



天保10年(1839)子安像塔



文久元年(1861)子安像塔

## 向台薬師堂の子安塔群-2



明治13年(1880)



明治29年(1896)



大正13年(1924)



昭和63年(1988)

# 平塚本郷集会所の子安塔群

如意輪観音像十九夜塔  
3基と子安塔10基が並ぶ



天保14年(1843)



明治19年(1886)



昭和58年(1982)



平成11年(1999)

# 中の薬師堂の子安さま



弘化3年（1846）中 薬師堂

## 所沢の子安講

白井市所沢寮の小さな薬師堂。今日は、毎年9月と3月上旬の戌の日に開かれる地域の子安講の日です。当番のお母さんたちが、お堂を開けて、子安さまのお厨子を開き、お寺さんに新しい犬塔婆の経文を書いてもらい、境内の子安さまのまわりのお掃除をして、お仲間が集まるのを待ちます。子供たちは、お堂の日だまりでゲーム。旧家の跡取りのお嫁さんによる子安講がいまも続いているムラの風景です。（2010年3月13日 記）



## 所沢寮の薬師堂境内の女人講の石仏



寛文12年(1672)銘の十九夜塔



昭和18年(1943)銘の子安塔

## 子安神を祀る石祠の「子安塔」



寛政12年(1800) 平塚鳥見神社  
子安大明神石祠

文化3年(1806)河原子天神社  
子安大明神石祠



文政13年(1830) 今井青年館  
子安像石祠

# 白井の江戸後期の子安像塔-1



文化6年（1809）中木戸観音堂



天保9年（1838）榎台堂跡墓地



弘化3年（1846）中 薬師堂

## 白井の江戸後期の子安像塔-2



文久元年（1861）榎台堂跡墓地



文久2年（1862）神々廻神宮寺

参考事例



天保14年（1843）鎌ヶ谷市鎌ヶ谷八幡神社

# 白井の近代の子安像塔-1



明治10年（1877）名内 東光院



明治15年（1882）十余一香取神社



明治21年（1888）下長殿青年館

## 白井の近代の子安像塔-2



明治21年（1888）富ヶ谷光明寺



明治25年（1892）神々廻神宮寺



明治45年（1912）折立来迎寺

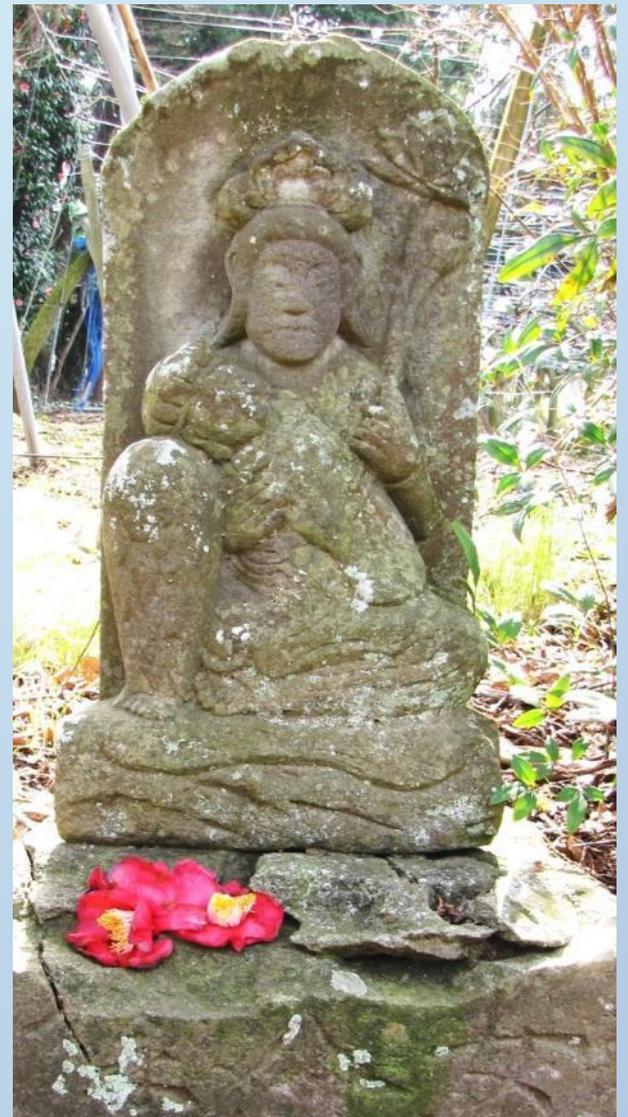
## 白井の近代の子安像塔-3



明治7年(1874) 神々廻神宮寺



明治13年(1880) 白井市向台薬師堂



明治20年(1887) 木野口地藏堂

## 白井の近代の子安像塔-4



明治42年（1909）中台集会所



明治43年（1910）神々廻神宮寺



大正8年（1919）法目仏法寺



大正8年（1919）小名内稲荷神社

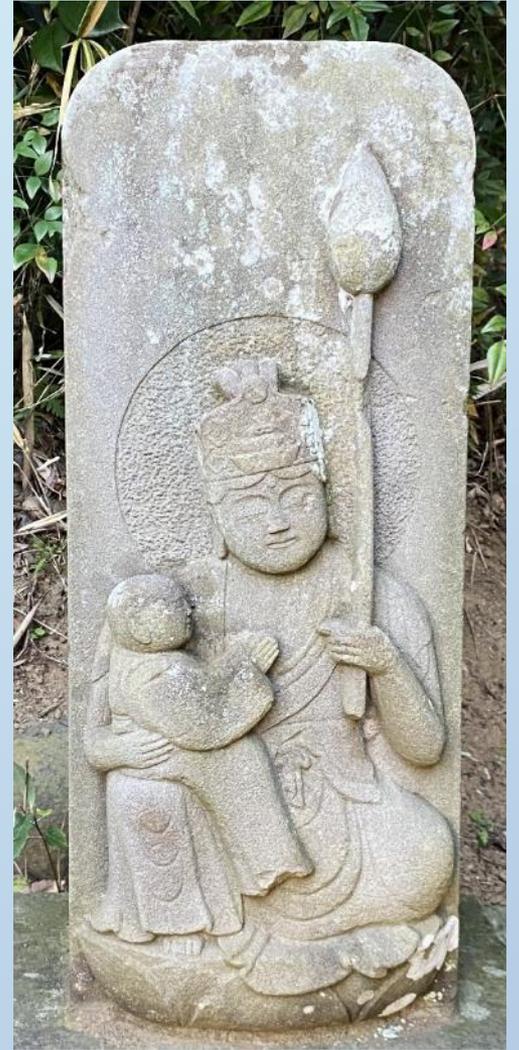
## 白井の近代の子安像塔-5



大正13年（1924）向台薬師堂



昭和7年（1932）榎台堂跡墓地



昭和9年（1934）復上長殿観音堂

## 白井の現代の子安像塔



昭和39年（1964）中台集会所

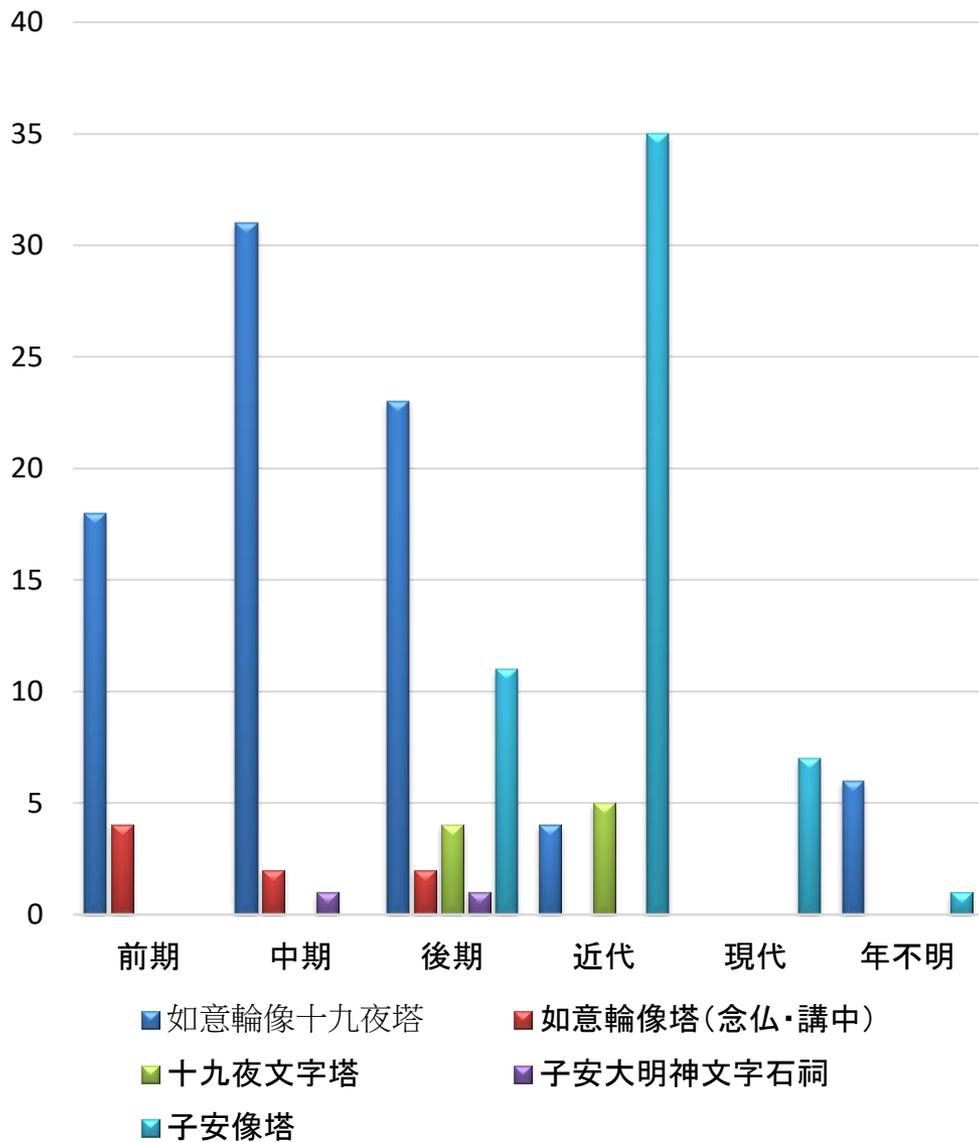


昭和63年（1988）向台薬師堂



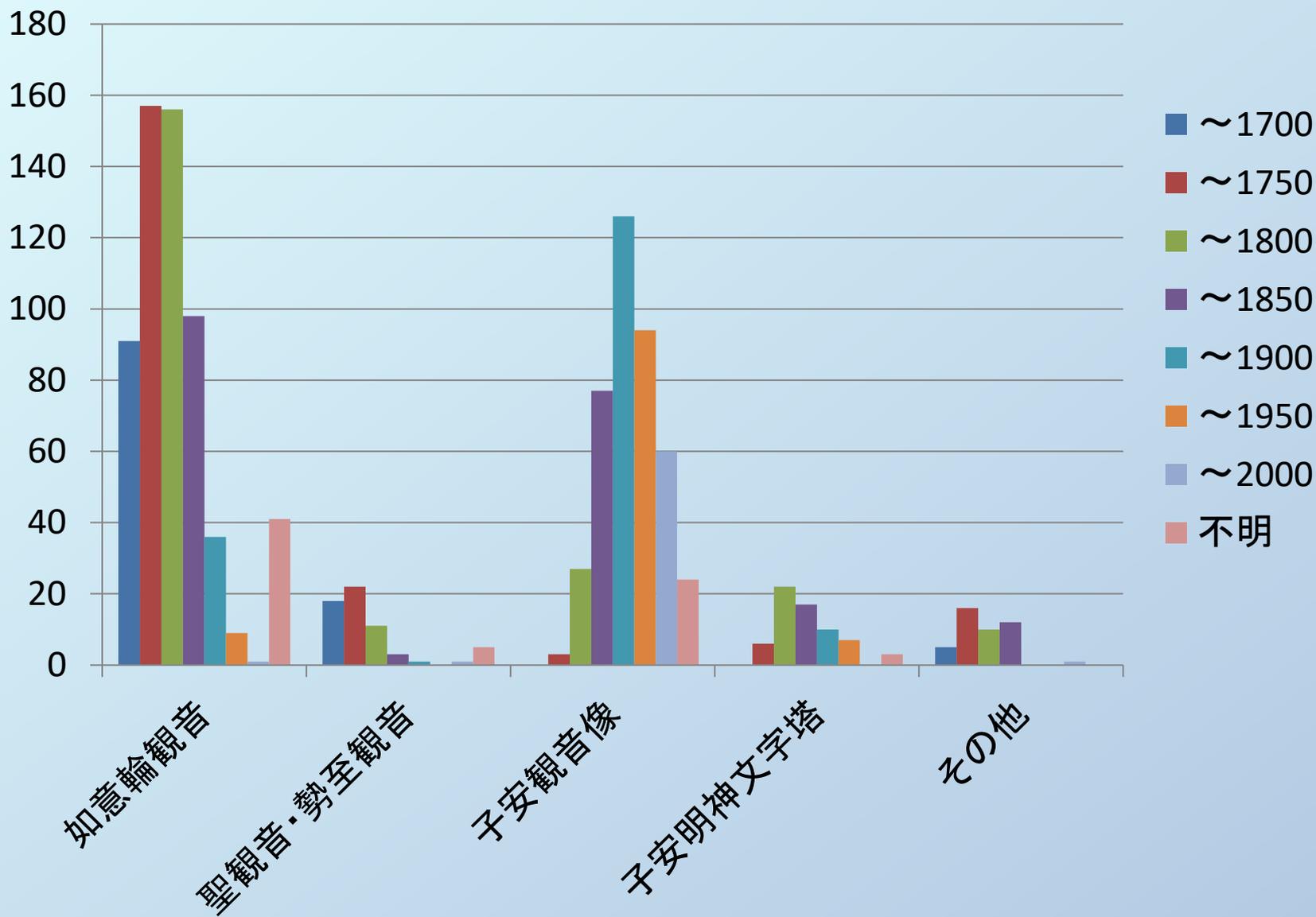
平成11年（1999）平塚本郷集会所

# 白井市内の女人信仰の石造物

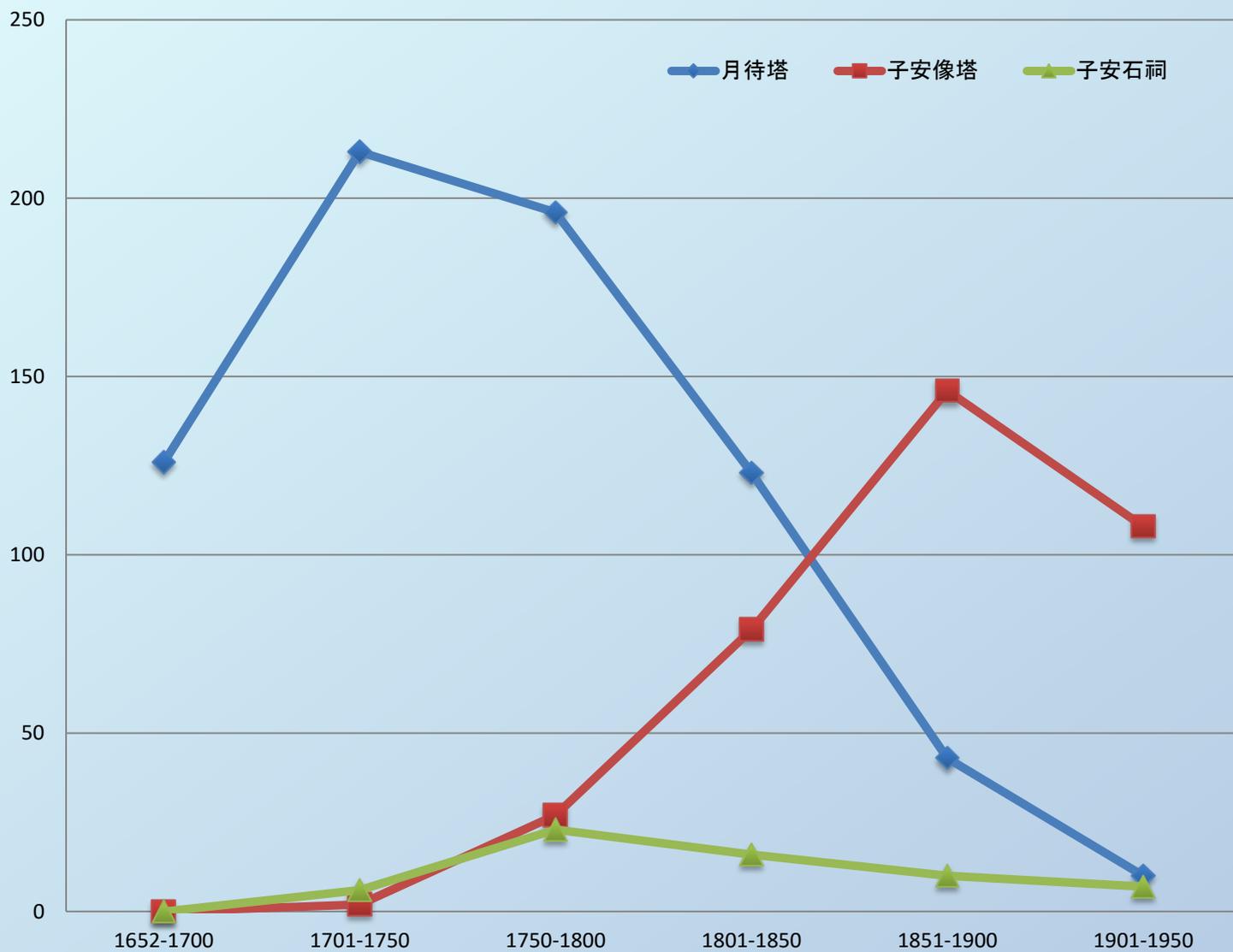


	前期	中期	後期	近代	現代	年不明	計
如意輪像十九夜塔	18	31	23	4	0	6	82
如意輪像塔 (念仏・講中)	4	2	2	0	0	0	8
十九夜文字塔	0	0	4	5	0	0	9
子安大明神文字石祠	0	1	1	0	0	0	2
子安像塔	0	0	11	35	7	1	54
計	22	34	41	44	7	7	155

# 印旛沼周辺10市町村の女人信仰関連石造物の推移



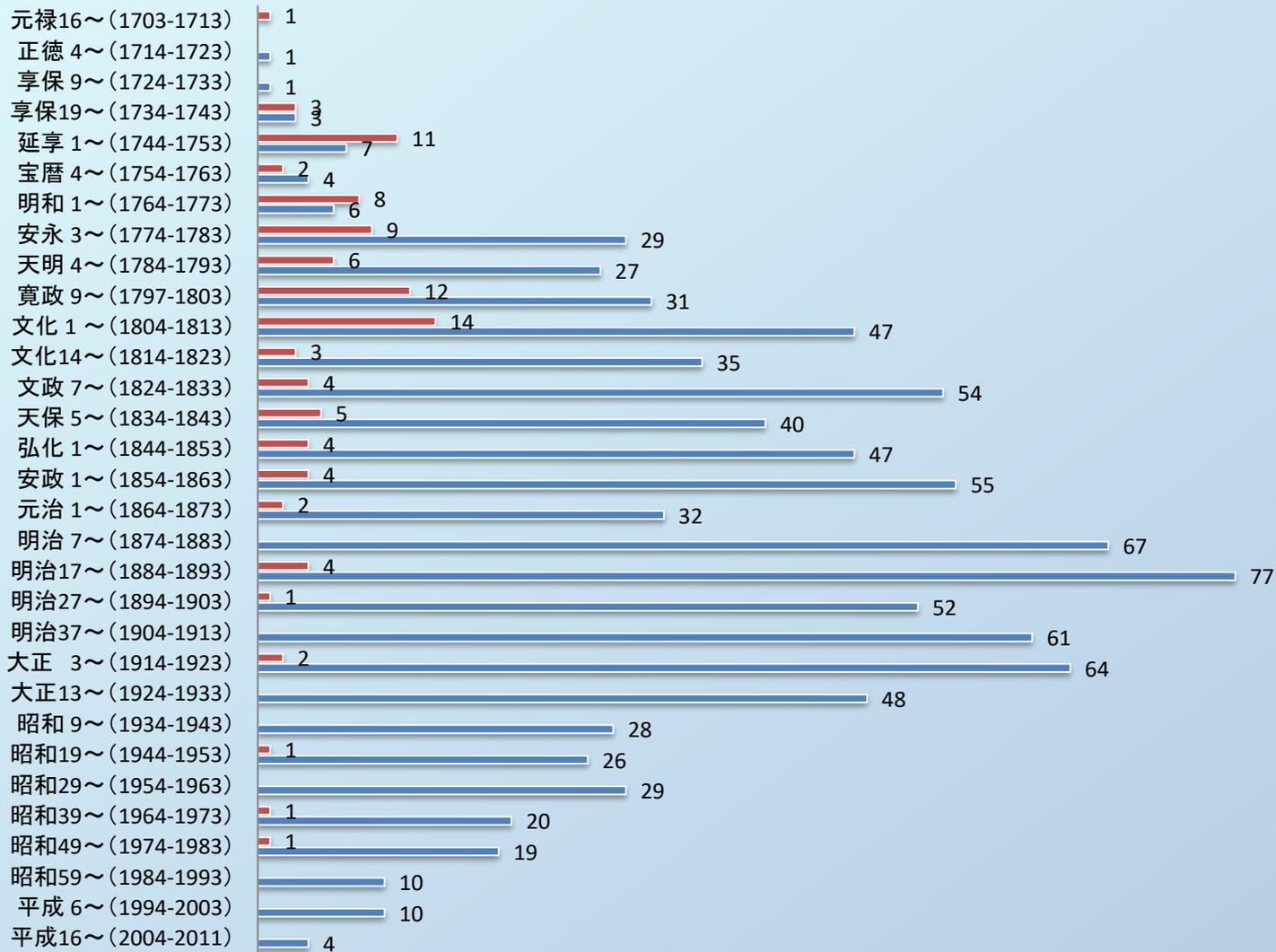
## 10市町村の女人信仰の石塔合計数(年代別)



# 北総の子安像塔数の推移

■ 文字のみの子安石塔・石祠

■ 子安像塔数(墓標仏を含む)

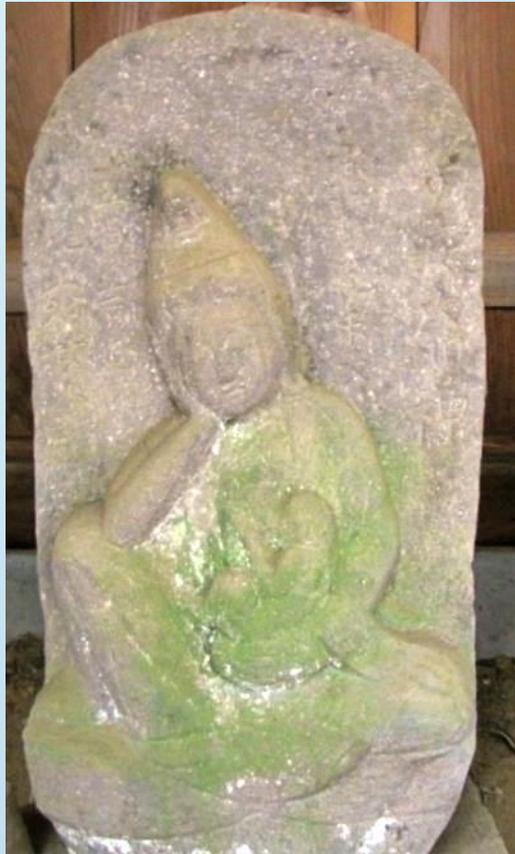


### 第3部 北総における子安像の出現

北総の子安塔：酒々井町の子安像塔



享保 18年(1733) 尾上 住吉神社の「子安大明神」塔



宝暦元年(1751)



元文5年(1740)  
柏木新光寺跡墓地

# 北総の子安塔：石祠に浮彫された子安像塔



延享元年(1744)  
酒々井町下岩橋 大仏頂寺



明和 7年(1770)  
酒々井町伊篠 白幡神社



天明3年(1783)  
佐倉市大佐倉 麻賀多神社

# 北総の子安塔：如意輪観音の思惟相の子安像塔



宝暦4年(1754)  
酒々井町酒々井朝日神社



安永5年(1776)  
酒々井町酒々井新堀



宝暦12年(1762)  
成田市松崎 富宮神社



天明3年(1783)  
成田市飯仲住吉神社

# 北総の子安塔を訪ねて 成田市の子安塔



宝暦4年(1754)  
成田市船形薬師寺



明和元年(1764)  
下総町 高・台十字路



北須賀白旗神社

左は天明8年(1788)の如意輪観音十九夜塔 天明2年(1782)

北総の子安塔を訪ねて 栄町と本埜村の2児のいる子安様



安永5年(1776)  
本埜村瀧水寺



安永3年(1774)  
栄町 南集会所



安永8年(1779)  
栄町押付 善勝庵

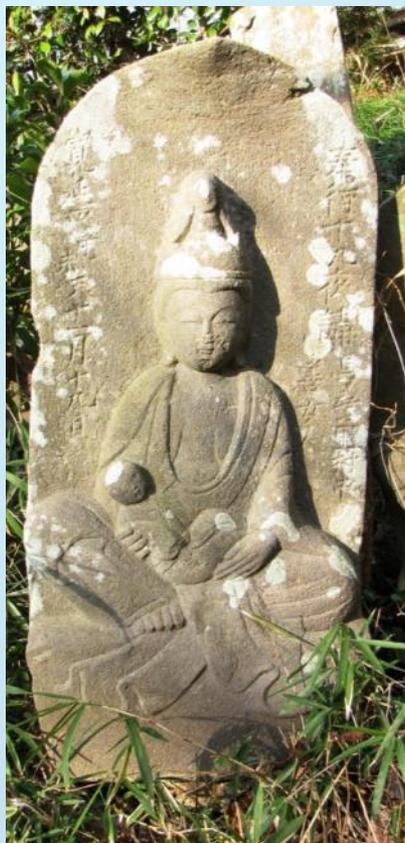


寛政2年(1790)  
栄町 三和青年館跡

# 北総の子安塔を訪ねて 大栄町（現・成田市）の子安様



寛延2年(1749)  
桜田正等院



寛延4年(1751)  
馬乗里



明和3年(1766)  
奈土 昌福寺



寛政10年(1798)  
村田 耕田寺

北総の子安塔を訪ねて 銚子市の子安様



延享2年(1745)

高神東町 賢徳寺

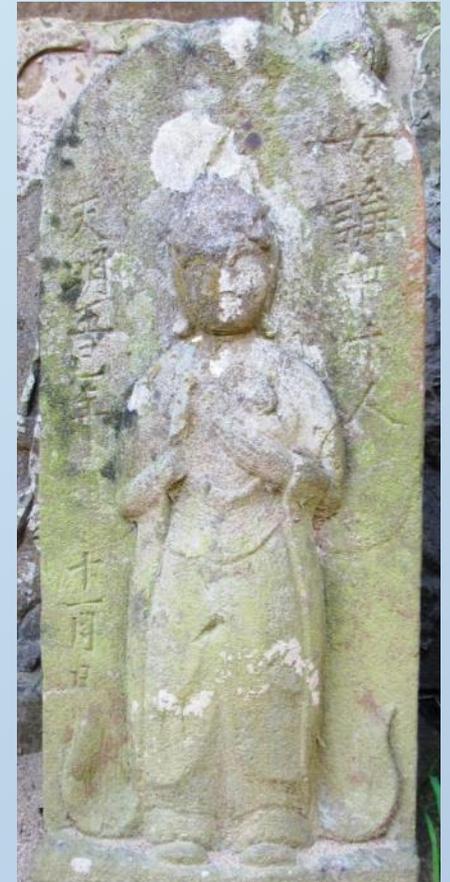


安永4年(1775)



安永6年(1777)

猿田町 南坊院



天明5年(1785)

名洗町不動尊

# 北総の子安塔を訪ねて 小見川町の子安様



虫幡日向山薬師堂の子安塔群



天明8年(1788)



貞享4年(1687)大日如来像 文化10年(1813)の子安塔



元文6年(1741)

虫幡日向山薬師堂

北総の子安塔を訪ねて 小見川町の子安様-2



安永3年(1774)  
虫幡八王子大神



安永9年(1780)  
木内区民センター(多宝院)



寛政11年(1799)  
虫幡地福院

北総の子安塔を訪ねて 千葉市の子安様-1



安永5年(1776)

桜木霊園



安永9年(1780)

星久喜町千手院



安永7年(1778)

大宮町安楽寺

文化6年(1809)  
白井市中木戸観音堂

# 北総の子安塔を訪ねて 千葉市の子安様-2 中期から後期へ



天明6年(1786)  
旦谷町 公民館



寛政3年(1791)  
下田町慈眼寺



寛政10年(1798)  
星久喜町千手院



寛政11年(1799)  
大草町大草寺跡



享和4年(1804)  
新町 天満宮



安永7年(1778)  
大宮町安楽寺

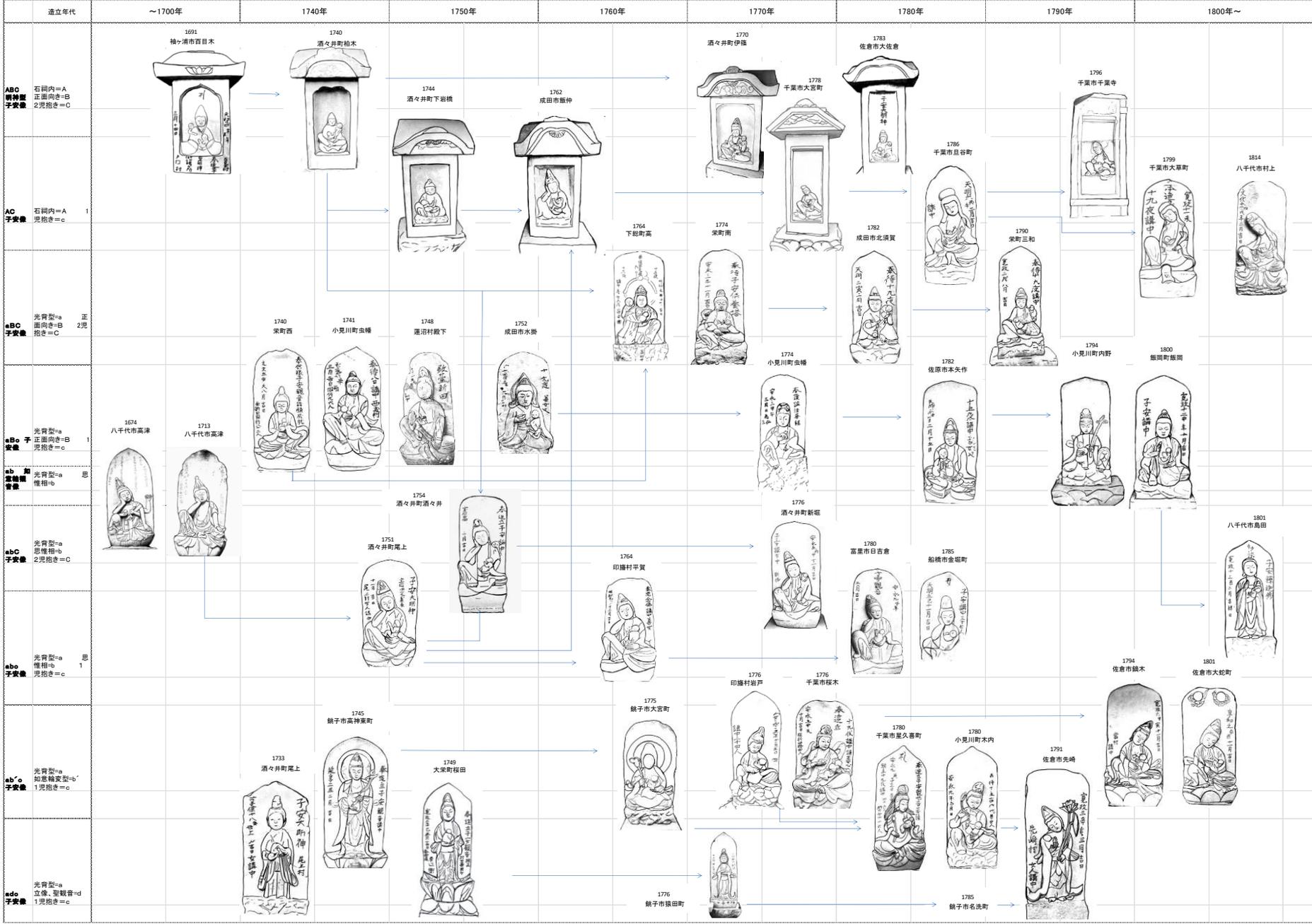


寛政8年(1796)  
千葉寺瀧蔵神社



文化元年(1804)  
大宮町日枝神社

### 北総における子安像塔の出現と系譜(江戸時代中期)



## 第4部 江戸後期以降の北総の子安像

北総に広がる千葉市タイプの子安様 後期への展開



文化11年(1814)  
八千代市 林照院



文化13年(1816)  
下総町大和田コミュニティセンター

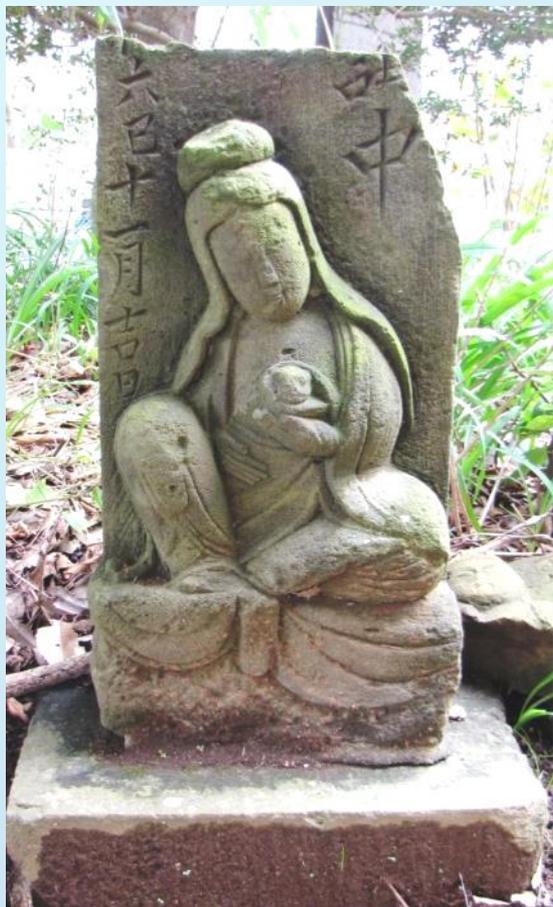


天保11年(1840)  
習志野市屋敷天津神社



天保11年(1840)  
八千代市 島田台 長唱寺

# 北総の子安塔を訪ねて 白井市の子安様



文化6年(1809)中木戸観音堂



文政13年(1830)今井青年館



明治10年(1877)名内東光院



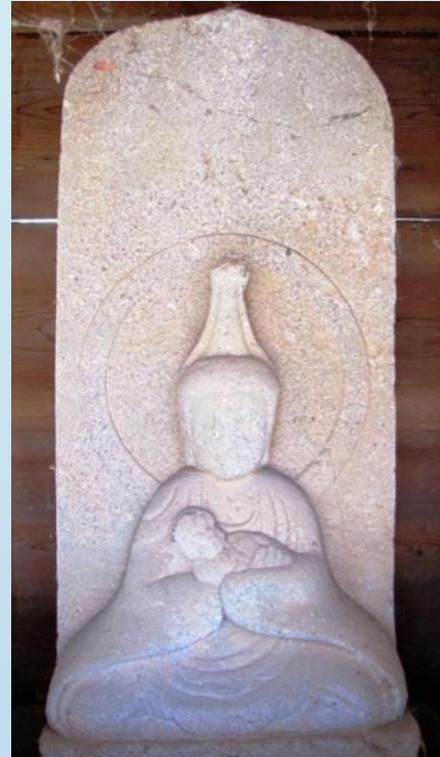
弘化3年(1846)中薬師堂

北総の子安塔を訪ねて 江戸後期への展開 正面を向く子安像

白井市向台薬師堂  
天保10年(1839)



千葉市長作町水神社  
文政6年(1823)

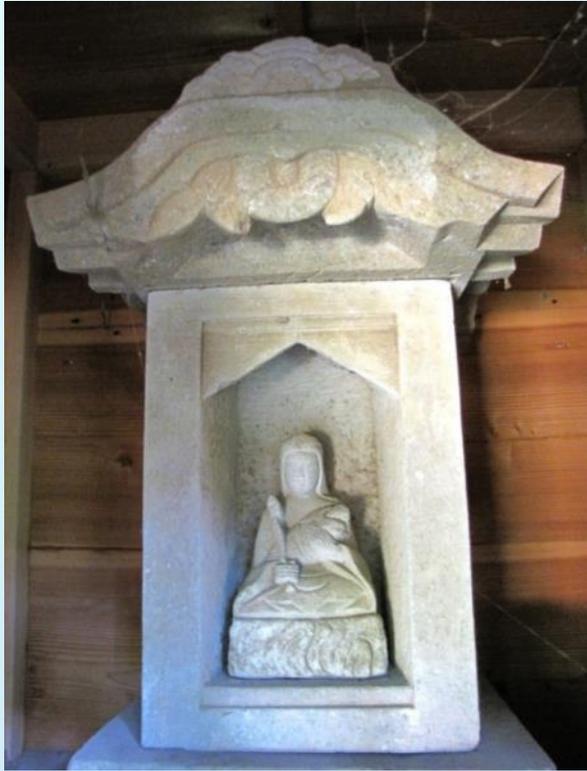


沼南町金山円林寺  
天保4年(1833)

沼南町布瀬宝寿院  
文政9年(1826)



北総の子安塔を訪ねて 江戸後期への展開 石祠の子安さま



文化3年(1806)  
印西市宮内の  
鳥見神社

文化13年(1816)  
千葉市 加曾利町



文政7年(1824)  
船橋市 高根町 神明社



文政13年(1830)白井市今井青年館



北総の子安塔を訪ねて 江戸後期への展開 足元に子がいる子安像



文化6年(1809)  
佐原市 篠原新田 水神社



文化12(1815)  
神埼町大貫 興福寺



天保 3年(1832)  
栄町木塚天王前

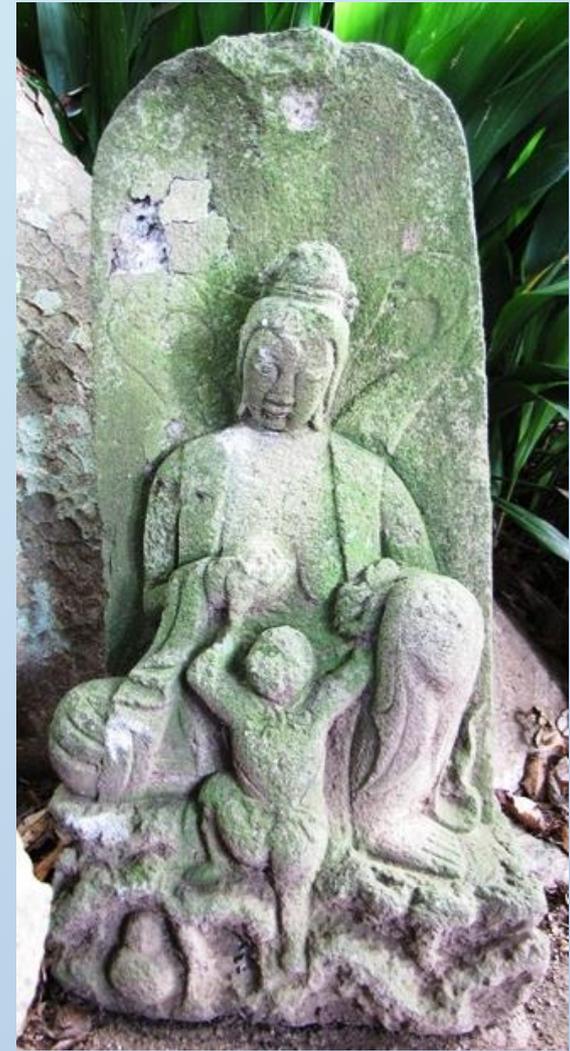
北総の子安塔を訪ねて 江戸後期への展開 足元に子がいる子安像



文政元(1818)  
佐原市 玉造 玉造寺



天保3年(1832)  
銚子市名洗町不動尊



天保10年(1839)  
土浦市真鍋 八坂神社

北総の子安塔を訪ねて 幕末の子安像塔 様々なスタイル



嘉永4年(1851)  
印西市発作殿島神社



嘉永7年(1854)  
印西市戸神青年館



神埼町植房 宇迦神社  
天保4年(1833)

文久3年(1863)  
香取市織幡花見寺



安政3年(1856)  
八千代市麦丸東福院



北総の子安塔を訪ねて 江戸後期への展開 **這い上がる子をすくい上げる母像**



天保10(1839)  
船橋市前貝塚町 八幡神社



天保12(1841)  
船橋市東船橋一 日枝神社



天保14年(1843)  
鎌ヶ谷市鎌ヶ谷八幡神社



**文久2年(1862)**  
**白井市神々廻神宮寺**

北総の子安塔を訪ねて 幕末から明治への展開



弘化5年(1848)  
八千代市米本長福寺入口



明治3年(1870)  
船橋市飯山満町3王子神社



明治31年(1889)  
八千代市島田台長唱寺

北総の子安塔を訪ねて 幕末から現代へ 定番型の子安像の登場



安政4年(1857)  
印西市別所地藏寺



明治19年(1886)  
印西市戸神青年館



大正8年(1919)  
白井市仏法寺



昭和56年(1981)  
八千代市村上辺田前公会堂

北総の子安塔を訪ねて ふくよかな近代の母子像



明治20年(1887)  
船橋市  
古作町熊野神社



明治33年(1900)  
船橋市  
金堀町 竜蔵院



大正2年(1913)  
八千代市  
村上辺田前公会堂



昭和2年(1927)  
船橋市  
米ヶ崎 無量寺



昭和9年(1934)  
八千代市  
大和田新田庚塚



明治20年(1887)  
白井市秋本寺

# 北総の子安塔を訪ねて

# 地域の伝統を引き継ぐ現在の子安像-1



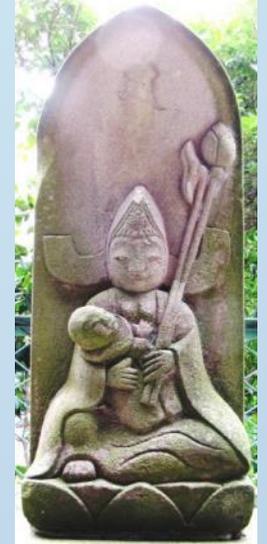
明治33年(1900)  
習志野市  
大久保薬師寺



明治39年(1906)  
佐倉市  
上志津西福寺



大正2年(1913)  
船橋市坪井町子安神社



大正6年(1917)  
八千代市大和田新田上区八幡神社



昭和37年(1962)  
上志津西福寺



昭和54年(1979)  
上志津西福寺



平成19年(2007)  
大和田新田  
上区八幡神社

北総の子安塔を訪ねて 地域の伝統を引き継ぐ現在の子安像-2



昭和45(1970)  
千葉市  
下横戸公会堂



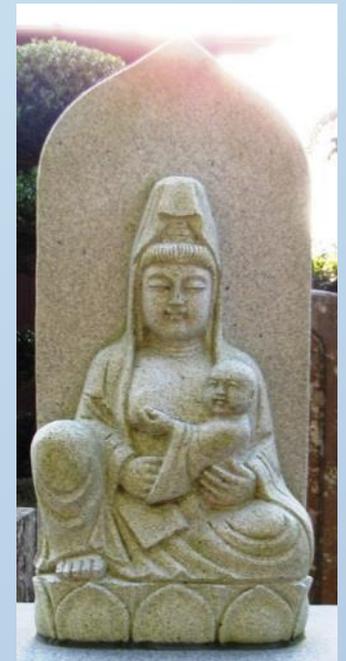
昭和53年(1979)  
銚子市浅間神社下



平成5年(1993)  
佐倉市  
小竹西作地藏堂



平成19年(2007)  
八千代市  
下高野福蔵院



平成21年(2009)  
佐倉市  
生谷専栄寺

# 第5部 子安像塔成立のルーツ探索

## 袖ヶ浦市百目木の子安様-1



## 袖ヶ浦市百目木の子安様-2



## 袖ヶ浦市百目木の子安様-3



# 白磁の観音像



マリア観音像(東京国立博物館蔵)  
安政三年長崎奉行所収納  
明～清時代・17世紀徳化窯



旧見王寺白磁観音像  
(長野県山ノ内町)



白磁マリア観音半跏倚像  
(長野県松代町)



マリア観音像  
(東京国立博物館蔵)  
長崎奉行所旧蔵品  
(明～清時代・17世紀  
徳化窯



福昌寺白磁観音像  
(長野県山ノ内町)



白磁製マリア観音像  
(千葉県大多喜町)